特集 トラック運送業界とSDGs（エスディージーズ）

第13回 持続可能なトラック運送業界の実現を目指して GKU㈱のSDGs推進への取り組み

本特集では、SDGs（持続可能な開発目標）とトラック運送業界の関わり方について紹介しています。……（川手和義代表取締役社長）の取り組みです。

今回は、群馬県高崎市のGKU㈱の取り組みを公表しました。

SDGsを通して職場環境を改善 取り組みを発信し業界のイメージ改善へ

川手　愛子
専務執行役員管理本部本部長

GKU㈱は群馬小型運送㈱として昭和28年に設立し、今年3月に現社名に変更。トラック運送事業を主軸に、総合物流業を展開する運送会社である。

同社がSDGsに取り組みはじめたのは、平成28年に政府がSDGs推進本部を設置し、SDGsの概念が世に広まり始めてすぐのことである。

同社はもともと、常に新しいことにチャレンジするという経営方針があったこともあり、SDGsにチャレンジしようと考えたという。

令和2年からは、ホームページ（HP）上で自社の取り組みを公表しはじめた。

「SDGsの目標のひとつに、『働きがいも 経済成長も』があります。当事業者にとって、SDGsは決してハードルが高いものではありません。中小運送事業者だからこそ、スピード感をもってSDGsに取り組むことができるのではないでしょうか」（川手愛子専務執行役員管理本部本部長）

SDGsに当てはまるものは数多くあると思います。SDGsを通じて職場環境改善に積極的に取り組んでいることを、自社HPなどを通じてアピールしていくことで、トラック運送業界のイメージを大きく変えることができるのです。中小運送事業者にとって、SDGsはられるのではないかと思います」（同）

さらに、健康経営への取り組みも推進しており、同社は2年から「健康経営優良法人」に認定されている。特に生活習慣に起因し、脳や心臓に重大な疾患をもたらすおそれがある血圧について、出勤時にドライバーだけでなく事務職員も測定を行い、その結果を